

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 5月 23日
2次評価日（課長等）	26年 5月 23日

1 事業名	地域福祉推進事業	コード	61101
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 社会福祉課	作成者 小林隆志
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の充実	施 策	地域福祉の推進
		予算科目	地域福祉推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	地域住民が、生涯にわたり住み慣れた地域で健やかに暮らし続けるため、地域でお互いに支え合う仕組みを整え、自立を支え合う地域づくりを行う。		
目的	対象者	地域住民（市民）	
	意 図	地域福祉の充実	

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○地域サポートセンター設置促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・2月、横川区に新設となり全17地区の設置となった。 ・設置運営、事業推進等に係る経費に対する補助金交付（行政事務交付金） ・拠点施設のバリアフリー化に対する補助金交付（2区：小尾口区、小坂区） ○岡谷市社会福祉協議会との連携による地域福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・社協の基幹職員分等の補助 ○市内福祉団体への支援
	市内全地区への地域サポートセンターの設置に向け、設置区の活動状況を聴き取りし、具体的な事例として未設置区に提示するなど支援を行った。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	地域サポートセンター説明会等参加者			単位 人
実績値	77	120	100	
*指標の説明	説明会等参加者数			
② 成果指標（指標名）	地域サポートセンター設置数			単位 区
目標値	10	8	5	4
実績値	2	3	1	
達成度	20.0%	37.5%	20.0%	
*指標の説明	未設置区への設置			
*目標値の設定方法の説明	岡谷市内の行政区数（未設置区数）			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	703,300	762,166	395,833	1,000,000
経常経費	703,300	762,166	395,833	1,000,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	6,240,000	5,360,000	6,400,000	6,400,000
正規職員の人数(人)	0.78	0.67	0.80	0.80
③ 合計コスト(①+②)	6,943,300	6,122,166	6,795,833	7,400,000
前年度比		88.2%	111.0%	0.0%
財源内訳				
一般財源	6,943,300	6,122,166	6,795,833	7,400,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	90,173	51,018	67,958	
前年度比		56.6%	133.2%	
⑤ コストに関する補足説明	各区拠点施設のバリアフリー化改修工事の規模の違いによる			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
行政事務交付金 (地域林 ^o -トセンター)	件数	13	16	17	21
	金額	920,000	1,135,000	1,280,000	1,530,000
地域林 ^o -トセンターパリア リ-事業補助金	件数	3	2	2	2
	金額	703,300	762,166	395,833	1,000,000
地域林 ^o -トセンター設置促 進事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	100,000	53,413	37,420	100,000
岡谷市社会福祉協議 会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	21,822,968	22,360,969	22,888,420	24,031,000
岡谷地区保護司会補 助金	件数	1	1	1	1
	金額	64,000	64,000	64,000	64,000
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	23,610,268	24,375,548	24,665,673	26,725,000
	割合	3,357.07%	3,198.19%	6,231.33%	2,672.50%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	0
成果指標の実績値 前年度比	33.3%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	0
成果指標の目標値 達成度	20.0%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	○地域の拠点となる地域サポートセンターの設置及び継続運営 ・全21区への地域サポートセンターの設置。(未設置区：4区) ・設置後の安定した継続運営。	
改 善 方 法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	○事業全体に亘る市社協とのさらなる連携強化。 ・未設置区への説明会や設置区の活動状況聴き取り訪問 ・設置区間の情報交換会や研修会等の開催。 ・設置区への新たな運営継続支援策の検討。	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---